

だんだん

隠岐広域連合立 隠岐島前病院
<http://fish.miracle.ne.jp/dozen/>

＊＊今回の内容＊＊

1. 事務長より
2. 新人紹介
3. 七夕会

1. 事務長より

日頃より隠岐島前病院の運営について地域の皆さんに多くのご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

私はこの4月より、西ノ島町から派遣され事務局長として着任いたしました。昨年度までは、町の建設、観光、教育委員会などに勤務しており、まったく違う分野での環境に、戸惑いながら4カ月を迎えたところです。

この隠岐島前病院のモットーは、「顔が見える地域では生活まで全てを支えるのが当然」との考えのもと保健・福祉と連携し、これらと一元化した医療サービスの提供に、医師をはじめ、各部署の職員が一丸となって取り組んでいます。

ひとり一人が今の仕事にやりがいを見出し、患者さん、家族の想いを大切に取り組む姿勢に感心させられながら、私も負けないよう日々取り組んでいきたいと考えています。

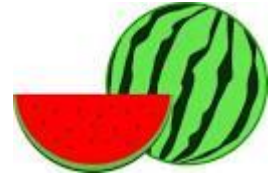
まだまだ、1年生の私ですが、微力ながらこの重責を努めてまいりますので、地域の皆様のご支援、ご理解をよろしくお願いいたします。

事務局長 天草 巧





2. 新人紹介



5月から離島看護師研修プログラムでお世話になっています。隠岐・西ノ島での生活も早くも4か月になりました。大阪と違ってとても自然が身近に感じられます。きれいな海、緑豊かな山、満天の星空、そしてたくさんの虫……。都会と違い不便なところもありますが、その分のんびりと暮らしています。これから夏本番。島生活を満喫したいと思います。

長岡聡子

私は NPO: ジャパンハートの国際看護長期研修プログラムの「僻地・離島研修」でここへ来ました。初めての離島暮らし、不便さを感じて人生初めてのホームシックに陥りかけました。でも、真っ青な海、キジの鳴き声、夜の静けさ、などなど今は大自然に癒されています。そして優しい患者様たちと、いつも機敏で温かく患者様に対応されているスタッフの方々。たくさんご迷惑をかけていますが、半年間たくさんいろんな物を吸収できるように頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

貢 尚子



愛知県から地域医療を学びにきました。訪問看護と外来で働いています。5月から働き始め3か月がたち少しずつ自分で出来る事も増えてきました。今まで働いていたつもりでしたがここに来て何もできず悲しい日々が続いていましたが、周りの方の優しさのおかげで仕事もプライベートも楽しくなりました。これからもたくさんの事を吸収して成長したいと思います。

青柳みゆき





7年間、島根医大で働きこの度地元の西ノ島リターンで戻ってきました。主に外来で働いていますが、昔から知っている方々に会う度に嬉しさを感じています。約10年ぶりの隠岐での生活ですが全く不便さを感じずに住めている自分に感心しています（笑）子育てしながらこれから何十年も先まで島前病院で働きますので皆様覚えて下さいね。

上原 彩

平成22年4月に西ノ島に嫁に来て今年で4年目になります。以前パートで数カ月勤務していましたが、この度4月から正職員として働いています。やんちゃ盛りの女の子、男の子2人の子育て奮闘中です。西ノ島の事、子育ての事まだ分からない事が多いので色々教えてください。毎月勉強の日々ですが頑張りますのでよろしくお願いします。

奥本良美



島前病院で働いてみたい!!と思ったのが昨年10月、半ば勢いで4月から西ノ島で働かせていただいております。海がそばにある生活は新しい発見の連続で、新鮮で楽しくて仕方がありません。

これから病院や医療、自分自身がこの島の人たちのためにどのようなことが出来るのか、少しずつでも自分なりに考えて貢献できたらと思っています。どうぞよろしくお願いします。

北条 綾





境港出身の朴です。生まれも育ちも境港です。西ノ島に移住する前までは山口県の周防大島に住んでいました。Uターンを考えていましたが、Iターンに変更しました。

スローペースですが、よろしくお願いします。

朴 貞玉

初めまして、今年の四月から島前病院の事務員としてお世話になっている松本です。

初の社会人、そして初の隠岐ということでどんだんいろんなことに挑戦していきたいと思っています。最近は生まれて初めての素潜りに連れて行ってもらい、海の綺麗さに驚かされ、自分の泳ぎの下手さに驚かされました。今年の目標はさざえをもっと採れるようになること！仕事のことを忘れないように注意しながら頑張っていくますのでよろしくお願いします。

松本宏也



大阪府松原市から引っ越してきた大久保萌です。

両親も大阪出身で隠岐とは無縁だったのですが、お父さんが漁師になりたいと言い去年の夏ごろに引っ越してきました。

私はまだ高校生だったので卒業をして今年の3月にこっちに来ました。

高校では3年間、軽音楽部所属に所属していてバンドを組んで定期的にライブにも出演したりしていました。ちなみにボーカルをしていました。昔から音楽を聞いたり、歌を歌うことが好きで歌手を目指していた時期もありました。特にコブクロが好きで暇な時はいつも聞いています。こんな私ですがこれからもよろしくお願いします。

大久保萌





3. 七夕会

島前病院の病棟では、看護助手が企画したレクリエーションが行われます。

入院したことがある方で、「そんなのあった？」と思われる方もおられることでしょう。

そう思われるのはなぜか…。はい…。大変申し訳ありませんm(..)m 日々の忙しさの中、季節ごとのイベントをするのが精いっぱいなので、年に数回が行われないからです(-_-;)

それでもそんな中、入院生活の中で少しでも季節を感じていただこうと思い、計画・開催しております。

3月にお雛祭り会・7月に七夕会・10月にお月見会・12月にクリスマス会、とありますが、今回は7月の七夕会を掲載させていただきます。

今回の七夕会は、『熱中症対策』をテーマにしたショートコント…いえいえ(#^.^#)寸劇をしました。

看護師と看護助手の扮する水戸黄門！少々打ち合わせが足りない場面もありましたが(笑)患者さんの温かい拍手の中、無事演じ切れました！！



そしてレクリエーションのお楽しみがもう一つ！

それは、栄養士さんと厨房のスタッフさんが作ってくれる、手作りおやつです。毎回、季節に合わせたおやつを出してくれます。今回は牛乳ゼリーでした。フルーツがたくさん入っていて、患者さんも喜んでおられました。

残念ながら、美味しさのあまり写真を撮り忘れてしまいましたが、次回はずひ写真付きでご紹介いたします！！

患者さんたちの笑顔が見られて、短い時間ではありましたがスタッフも一緒に素敵な時間を過ごすことができました。





病院という施設の中で、賑わうことが適切かどうかは、いろいろなご意見があるかもしれません。スタッフとして考える事もあります。

入院される患者さんの症状や入院期間も様々です。やはり入院生活が楽しいものとは限りません。その中で、少しでも気分転換として、笑えたり、気が安らいだりする機会があれば…とそうのように考え、このような企画をさせていただいています。

機会がありましたら、病棟のレクリエーションをぜひのぞいてみてください。

患者さんの素敵な笑顔に出会えば、年に数度の賑わいもご理解いただけるのでは…と思います。

今年はずっとよりさらに厳しい猛暑になるようです。暑い夏、病院スタッフも頑張っけて乗り切っていこうと思います。

寸劇のテーマ『熱中症対策』も大切ですが、熱中症にならないように十分にお気を付け下さい。



隠岐広域連合立 隠岐島前病院

〒648-0303

島根県隠岐郡西ノ島大字美田 2071-1

TEL 08514-7-8211

FAX 08514-7-8702

MAIL (看護部)

dz-kaigo@asahi.email.ne.jp

